

## CloudVision の特長

### 誰もが使えるクラウド由来の自動化

Arista EOS CloudVision は、顧客が自動化されたクラウドインフラストラクチャに移行できるように設計された、ターンキーのソフトウェア・ソリューションです。ネットワークに関わる時間やリソースを大量に消費する複雑な作業を単純化します。

### ネットワークワイドサービスとしての EOS

CloudVision は、全面的にプログラム可能で、オープンな標準ベースの Arista EOS 上に構築されます。CloudVision により、EOS の状態データベース・モデルは、NetDB を使用してネットワークワイドのビューに拡大されます。CloudVision が提供するデータベースは、物理ネットワークを抽象化して、ネットワークワイドの自動化と可視化をより簡単にします。

### ネットワーク・テレメトリ

CloudVision は、ネットワーク・テレメトリへの最新のアプローチです。従来のポーリング・メカニズムを代替します。CloudVision の分析エンジンとテレメトリ・アプリケーションは、EOS と NetDB の状態ストリーミング・インフラストラクチャを最大限に活用して、プライベート、パブリック、ハイブリッドクラウドのネットワーク状態を、かつてないレベルで可視化します。

### ワークフローの自動化

ワークフローのモニタリングとプロビジョニングは、事前にインテグレーションされた、プロビジョニング、変更管理、ネットワークワイドのアップグレードとロールバック、ネットワーク・モニタリング、ネットワーク仮想化、可視化の各サービスのためのツールセットによって一元的に管理されます。

### クラウドの補完

CloudVision は、物理ネットワークをサード・パーティ・サービスとインテグレーションするためのアリストアのプラットフォームです。これには、VMware NSX™などのネットワーク・オーバーレイ・コントローラ、DevOps プラットフォーム、Palo Alto Networks、ServiceNow などのネットワーク・サービス・ソリューションとのインテグレーションが含まれます。JSON ベースの REST API と gRPC ベースのストリーミング API の利用により、CloudVision は、ネットワーク・ビューの抽象化とインテグレーションの一元化を通じて、このようなインテグレーションを簡素化するとともに、拡張することができます。

## 概要

アリストアネットワークスは、ネットワーク業界に先駆けてソフトウェア主導型クラウド・ネットワークング・アプローチを推進してきました。Arista EOS®は、プログラム可能なインターフェイス、パブリッシュ/サブスクライブモデル、状態管理の分離、耐障害性、フォールト・コンテインメント(障害の封じ込め)、自己回復機能など、数々の特長を備えています。CloudVision®は、ネットワーク全体にこのアーキテクチャ・アプローチを拡張し、プライベート、パブリック、ハイブリッド・クラウド、および有線キャンパスと無線キャンパスにわたるネットワーク全体の状態を可視化します。これにより、企業は大きな社内開発をしなくてもクラウド・クラスの自動化に移行できます。CloudVision は、ワークフローの自動化を行うためのネットワーク全域にわたる手法であり、クラウド・ネットワークング向けのターンキー・ソリューションを実現します。CloudVision は、自動プロビジョニング、コンプライアンス、テレメトリ、分析、オーケストレーションなどを実行するソフトウェア・スイートを含む、ネットワーク全域にわたるクラウド・ネットワークング手法です。

### CloudVision: Multi-Function Platform



CloudVision では、ユニバーサル・クラウド・ネットワークの設計原則に従って、物理ネットワークは使い慣れたモデルで動作し続けます。広く認知されたコントロールプレーンおよびデータ・プレーンの機能は、各物理デバイスにも分散されています。オペレーターは、同じコマンドライン (CLI) と API を使用できます。

ただし、CloudVision は、集中ネットワーク・データベースである NetDB で、従来の運用モデルを強化します。NetDB は、リアルタイム状態ストリーミング機能を活用して、物理ネットワーク状態の集約ビューを収集します。NetDB は、Kubernetes や Hadoop などのスケールアウト技術を利用して、クラウド・ネイティブなアーキテクチャ上に構築されており、認知的分析の基盤として機能します。NetDB を導入することで、CloudVision は物理ネットワーク抽象化の中心となり、物理ネットワークへのインターフェイスとなって、エンタープライズ・クラスでネットワーク全域にわたる自動化、状態ストリーミング分析による時系列の可視化、サードパーティ・インテグレーションを統括します。

CloudVision は、有線および無線の SaaS ベースのサービスとしてだけでなく、従来型でオンプレミスの仮想アプライアンスまたは物理アプライアンスとして展開されます。CloudVision as-a-Service は、アリストアが全面的に管理するソフトウェア・サービスで、クラウド内で動作し、オンプレミスと同じ機能を提供します。このクラウド・サービスは、CloudVision のクラウド・ネイティブなアーキテクチャをフル活用し、セキュアな環境で接続サポートを提供して、価値創出までの時間短縮、柔軟なスケーリング、持続的なネットワーク保証をお客様が実現できるようにします。

## CloudVision は次の機能と利点を提供します:

**ストリーミング・テレメトリ** SNMP などの従来のポーリング・メカニズムは、今日のクラウド・データセンター・ネットワークに必要なきめ細かい可視性を提供できません。SNMP をはじめとした従来の技術は、アクセスできるデータが限られており、クラウド規模でネットワークを監視するには十分ではありません。CloudVision テレメトリは、ネットワーク・デバイスからの状態のリアルタイム・ストリーミングを利用して、ネットワークワイドの分析を実現します。これにより、ライブ・モニタリングとフォレンジック・トラブルシューティングを実現します。さらに、Cloud Tracer™は、プライベート・クラウド、パブリック・クラウド、およびハイブリッド・クラウドすべての環境にわたるネットワークの相互接続およびサービスの可用性を可視化します。

**ネットワークの時系列ビュー** EOS が個々のスイッチの状態データベースを活用するのと同様に、CloudVision は、フォレンジック・トラブルシューティングのために単一の場所でネットワーク全体の状態データベースを提供します。この基盤は、手動のボックスごとのアプローチから自動化されたネットワーク全体の運用モデルに移行と運用効率の向上を実現します。

**分析** 関連指標、または予測分析を使用して、ネットワーク・イベントが発生する前に事前通知します。CloudVision の分析エンジンは、ビッグデータ分析と機械学習を利用して、指標の相関関係を用いた根本原因分析を提供し、異常検出とイベント前にユーザーに警告する予測イベントにより、ネットワーク障害を防ぎます。

**トポロジ・ビュー** ネットワーク設計に合わせてネットワーク・トポロジを可視化します。CloudVision のトポロジ・ビューは、LLDP ネイバーだけでなく、デバイス・タイプ、隣接関係、共通レイアウトを自動的に計算するバックエンド分析とヒューリスティック分析に基づいて、ネットワーク・トポロジを提供します。トポロジ・ビューでメトリックを可視化することにより、輻輳、トラフィックの不均衡などの一般的なネットワーク・ホットスポットを特定します。ネットワーク・トポロジのメトリックをマップする機能により、ユーザーはネットワーク全体で問題を監視および特定できます。

**ネットワークワイドの検索** ネットワークワイドのデータベースで、MAC アドレスや IP アドレスを検索します。検索機能は、これらのネットワーク要素の変遷履歴を可視化し、根本原因特定までの時間を短縮します。検索結果は、関連付けられたレイヤ 2 またはレイヤ 3 インターフェイスのメトリックと関連することで強化されます。

**デバイス・アナライザ** 時系列グラフとヒートマップで可視化されたフロー・レコードにより、ネットワークのトラフィック・パターンを可視化し、キャパシティ・プランニングを改善します。接続されたすべての IP エンドポイントのインベントリに対するセキュリティ・ベースライン、傾向分析、および異常検出のためにトラフィックを分析します。

**自動プロビジョニング** 継続的な構成変更による初期展開の場合、CloudVision はネットワークの変更を展開する時間と人為的なエラーの可能性を削減します。使いやすい「Configlet (コンフィグレット)」は、設定をモジュール化、デバイスに対して再利用します。GUI ベースの ZTP サーバーは、デバイスの自動展開とゼロタッチ交換を実現します。ConfigletBuilder は、構成をカスタマイズするための柔軟な方法を提供します。

**変更管理** 監査証跡を文書化して維持し、ネットワークのダウンタイムを最小限に抑えつつ、調整され、管理された変更適用手法で、ネットワークの保守を自動化します。レビュー・ステージと承認ステージでは、変更の相互評価を行ったり、ServiceNow や Remedy などの IT 運用管理システムとインテグレーションすることができます。SSU メンテナンス・モードやリーフ SSU などの基礎となる EOS 機能を、自動化されたワークフローに組み込むことで、デバイスのグループに対するソフトウェア・イメージのアップグレードを実行できます。CloudVision では、ネットワーク状態の差異がまとめて視覚的に表示されるので、オペレーターは変更管理を行う際にネットワークの不整合を素早く把握し、診断することができます。

**コンプライアンス ダッシュボード** 運用上のセキュリティを改善するために、CloudVision はネットワークに展開する標準コンフィグレーション、標準イメージに対するコンプライアンス状態を可視化します。ダッシュボードは、インストール・ベースに影響する既知のソフトウェアの欠陥および PSIRT の問題への影響をリアルタイムに評価します。ユーザーはネットワーク全体のソフトウェアアップグレードについて十分な情報に基づいた決定を行うことができます。

**コントローラインテグレーション** サード・パーティのオーバーレイ・コントローラとインテグレーションするためのアプローチは、今日の物理と仮想が混在する環境では不可欠です。CloudVision は、VMware NSX™、OpenStack、およびその他の OVSDB ベースのコントローラを含むさまざまなオーバーレイおよびオーケストレーション・コントローラをサポートし、ネットワークを集約してこれらのコントローラへの単一のインテグレーションポイントを提供します。これにより、顧客はオーケストレーションおよびオーバーレイ・アプローチで選択の柔軟性を得ることができ、コントローラのパフォーマンスの拡張に役立ちます。

**ハードウェアおよびソフトウェアの抽象化** 新しいハードウェア・プラットフォーム導入に伴うノースバウンド・コントローラとのインテグレーションは、常に課題です。サード・パーティのコントローラは、CloudVision で動作することが認定されており、実際のネットワークで実行されているハードウェアまたはソフトウェアのバージョンに依存しません。

**Macro-Segmentation™ Services (MSS)** CloudVision は、MSS フレームワークを介して物理ネットワークへのサービスインテグレーションポイントを提供します。MSS を使用すると、セキュリティ・ポリシーなどのネットワーク・サービスを、運用上または管理上のセキュリティ・モデルを変更することなく、オープンなアプローチでネットワーク内で動的にインスタンス化できます。

**オープンな API インテグレーション** CloudVision の RESTful API は、他の管理プラットフォームおよびワークフローツールとのインテグレーションを可能にします。

## CloudVision ソリューション

CloudVision ソリューションは、CloudVision eXchange と CloudVision Portal の 2 つのコンポーネントで構成されています。これらの 2 つのコンポーネントは連携して、オーケストレーションと自動化を提供します：

**CloudVision eXchange** は、リアルタイムのプロビジョニング、オーケストレーション、およびサード・パーティのコントローラサービスに単一のアクセス・ポイントを提供する、EOS ベースのネットワーク全体のコントロール・ポイントです。

**CloudVision Portal** は、ネットワーク・プロビジョニング、変更管理、監視ワークフローを自動化するために構築されたウェブ・プラットフォームおよび履歴データベースです。

**CloudVision Wifi** は、ネットワーク管理者に豊富なテレメトリを提供しつつ、WiFi ネットワークのポリシー管理、プロビジョニング、トラブルシューティングを簡素化する集中管理プレーンです。詳細については、[CloudVision Wifi のデータシート](#)を参照してください。

## CloudVision eXchange の機能

次のテーブルは、Arista CloudVision eXchange の主な機能です。リリースごとのこれらの機能の詳細については、<http://www.arista.com/en/products/eos/eos-cloudvision> を参照してください。

| 機能                               | 説明  |
|----------------------------------|---|
| 基本インフラストラクチャ                     | 仮想アプライアンスとして VM で実行<br>単一ノード展開(ラボでのみ使用)<br>システム影響を最小限にする円滑なリブート<br>高可用性を可能にする 3 ノードクラスタ<br>EOS ベースの動作環境(CLI、API、管理機能など)   |
| VXLAN および EVPN サービス              | VXLAN マッピング情報の動的学習のための VXLAN コントロール・サービス(VCS)<br>BGP-EVPN を使用した複数のデータセンターにわたる CloudVision eXchange Federation   |
| API                              | EOS コマンド・ライン<br>EOS の eAPI  |
| オープンな仮想スイッチ・データベース (OVSDB) サービス  | ネットワーク・トポロジ情報、MAC から VXLAN エンドポイント、および VXLAN ID バインディングをオーバーレイ・コントローラと同期するためのレイヤー2 ハードウェア VTEP インテグレーション<br>VxLAN オーバーレイ・ネットワークの論理ルーティング機能のためのレイヤー3 ハードウェア VTEP インテグレーション |
| OpenStack サービス                   | VM 用のネットワークサービス(VLAN、VXLAN など)のプロビジョニング用の ML2 ドライバー・プラグインを介した OpenStack とのインテグレーション、およびネットワーク・プロビジョニングをベアメタル・サーバーに拡張するための OpenStack Ironic とのインテグレーション                    |
| Macro-Segmentation Service (MSS) | ファイアウォールとインテグレーションすることにより、物理ネットワークでネットワーク・サービス・ポリシーを動的にインスタンス化。Palo Alto、Fortinet、Check Point*  |
| パートナー・インテグレーション                  | Docker および Kubernetes ベースのコンテナ化環境の Container Tracer サポート<br>VMware NSX と OpenStack のインテグレーションの公式サポート<br>その他のテクノロジー・パートナーインテグレーションの詳細は、リクエストに応じて入手可能                       |

\*将来のリリースで予定されている機能を示します。

## CloudVision Portal の機能

次のテーブルは、Arista CloudVision Portal の主な機能です。リリースごとのこれらの機能の可用性の詳細については、<http://www.arista.com/en/products/eos/eos-cloudvision> を参照してください。

| 機能                     | 説明   |
|------------------------|--|
| ユーザー・セキュリティ            | AAA ローカル認証とロールベースの権限<br>TACACS / RADIUS 認証とロールベースの権限<br>RBAC - 権限のためのカスタム ロール定義<br>ワンタイム パスワード/多要素認証<br>Google、One-login、Okta、Microsoft とのシングル・サインオン・インテグレーション**   |
| API                    | JSON ベースの REST およびストリーミング API  |
| ネットワーク・プロビジョニング - 検出   | デバイス・インベントリ<br>手動デバイス検出<br>EOS および vEOS デバイス用のゼロタッチ・プロビジョニング (ZTP) による自動デバイス・プロビジョニング<br>ポータルによって実行されたすべてのアクションのデバイスごとのログ<br>ゼロ・タッチ・リプレイスメント (ZTR)<br>ZTP as-a-Service**   |
| ネットワーク・プロビジョニング - イメージ | イメージと EOS Extension (拡張機能) のリポジトリ<br>デバイスおよびコンテナ・レベルでの初期プロビジョニング用のイメージ・バンドルの割り当て   |
| ネットワーク・プロビジョニング - 構成   | Configlet (コンフィグレット) によるスイッチ構成管理 (デバイスおよびコンテナ・レベル)<br>静的 Configlet 定義<br>Configlet の検証<br>実行前、実行中のコンフィギュレーションの違いを表示<br>Configlet の変更履歴の追跡<br>コンフィギュレーションの自動調整<br>構成テンプレートおよびスクリプト用の Configlet Builder  |
| コンプライアンス・ダッシュボード       | 管理対象デバイスのコンフィギュレーションとイメージのコンプライアンス<br>デバイスの動作状態に基づいた管理対象デバイスのバグ影響度評価<br>セキュリティ・コンプライアンスのための管理対象デバイスの PSIRT 評価  |
| 変更管理                   | ユーザーが明示的に実行する必要がある自動タスク作成<br>自動化された継続的なデバイス構成の変更管理<br>スナップショットとユーザー定義アクションをサポートする、タスク実行のための柔軟な変更管理ワークフロー<br>ロールベース・アクセス制御のサポートにより、変更を確認および承認<br>BGP メンテナンス・モードと MLAG ヘルプ・チェックを利用して、グループ全体でデバイスの自動ソフトウェア・アップグレードを行い、ヒットレス・アップグレードを実現<br>ネットワーク全体のロールバック   |
| テレメトリ                  | デバイスからのリアルタイム状態ストリーミング<br>バックエンド状態リポジトリと分析エンジン<br>デバイス間の状態を簡単に比較したり、履歴タイムラインを表示する比較アプリケーション<br>イベントの検出と通知のためのリアルタイム分析<br>プライベート、パブリック、およびハイブリッド・クラウド環境にわたるエンドポイントの到達可能性を監視する<br>CloudTracer<br>メトリック・レイヤーを含むボロジ・ビュー<br>トレンド分析を備えたデバイスからの sFlow および IPFIX* フローレコードによるフローの可視性<br>接続されているすべての IP エンドポイントのエンドポイント・インベントリ<br>MAC アドレスと IP アドレスのネットワーク全体の検索* |
| パートナー・インテグレーション        | ServiceNow と Ansible のインテグレーションの公式サポート<br>その他のテクノロジー・パートナーインテグレーションの詳細は、リクエストに応じて入手可能  |

\*将来のリリースで計画されている機能を示します。

\*\*CloudVision as-a-Service にのみ該当

## CloudVision のシステム要件:

次に、CloudVision がインストールされているハードウェアの要件について説明します。

| CloudVision as-a-Service | 説明  |
|--------------------------|---|
| 接続要件                     | www.arista.io への IP 接続 (ポート 443)                          |
| プロトコル                    | ブラウザは HTTPS。管理者アクセスは SSH、SCP。ノード間の時刻同期は NTP。デバイス接続は gRPC。 |
| OAuth プロバイダー・インテグレーション   | Google、OneLogin、Okta、Microsoft Azure AD                   |

| CloudVision 仮想アプライアンス | 説明  |
|-----------------------|---|
| ハードウェア・プラットフォーム要件     | 最新のハードウェア・プラットフォーム要件については <a href="#">CloudVision 構成ガイド</a> を参照してください。本番環境では 3 ノードクラスタを推奨します。                           |
| ハイパーバイザー要件            | VMware ESX<br>Linux KVM<br>サポートされているハイパーバイザーのバージョンについては、ソフトウェア・リリースのバージョンを参照してください。                                     |
| プロトコル                 | ブラウザは HTTPS。管理者アクセスは SSH、SCP。ノード間の時刻同期は NTP。デバイス接続は gRPC。   |
| ソフトウェア・バージョン要件        | CloudVision eXchange および CloudVision Portal は、サポートされるハイパーバイザー上の仮想マシンとして展開されます。ソフトウェアの推奨事項については、ソフトウェアのリリースノートを参照してください。 |

| CloudVision アプライアンス   | 説明  |
|---|---|
| DCA-200-CV アプライアンス・プラットフォーム仕様<br> | <p>CPU: 2つの Intel Xeon 10 Core、2.2 GHz CPU</p> <p>DRAM: 64 GB (2つの 32GB RDIMM)</p> <p>ハード・ドライブ: 4つの 2TB SATA ハードドライブ</p> <p>ネットワーク・インターフェイス: 4つのポート 1Gb イーサネット (RJ-45)、専用 1Gb IPMI ポート</p> <p>電源: デュアル、ホット・プラグ、冗長電源 (1+1)、550W</p> <p>電源コード: C13 から C14、PDU スタイル、12A、2 フィート (北米)</p> <p>寸法 (高さ x 幅 x 奥行): 1.68x17x25.87 インチ (4.26cm x 43.38cm x 65.70cm)</p> <p>重量: 38.9 ポンド (17.64 kg)</p> <p>リモート管理: iDRAC9 エンタープライズ・コントローラ</p> |
| 物理アプライアンス・ソフトウェア・バージョン要件  | DCA-200-CV には、CloudVision eXchange サーバー、CloudVision Portal サーバー、およびモバイル・ワイヤレス・マネージャーを備えた CloudVision Wifi のサポート対象ソフトウェア・リリースが付属しています。リリースの推奨事項については、 <a href="#">推奨リリースページ</a> を参照してください。   |

## CloudVision 発注情報

CloudVision は、次の 2 つの機能セットをソフトウェア・サブスクリプションとして提供します：

- すべての CloudVision 機能を含む CloudVision ライセンス (「SS-CV」で始まる SKU)
- CloudVision 機能のサブセットを含む、CloudVision Lite ライセンス (「SS-CV-LT」で始まる SKU)

| CloudVision Lite   | CloudVision   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロビジョニング: ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)、コンフィグレーション/イメージ管理、変更管理</li> <li>• インベントリ: デバイス・インベントリ、エンドポイント・インベントリベース・トポロジ・ビュー</li> <li>• 全般: API、状態ストリーミング、ユーザー・コントロール、EOS/CloudEOS</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• CloudVision Lite のすべての機能</li> <li>• テレメトリ: デバイス・ビュー、メトリック、トポロジ・ビュー、トポロジ・オーバーレイ、スナップショット、差分ビュー</li> <li>• コンプライアンス・チェック、ダッシュボード、バグ可視化</li> <li>• 先進的な機能: 検索、通知、パートナーインテグレーション</li> <li>• 分析: イベント、デバイス・アナライザ、フロー/INT</li> <li>• ユースケース: 有線 + 無線、TapAgg マルチスイッチの可視化</li> </ul> |

| 製品番号                 | 範囲   |
|----------------------|--|
| SS-CV-SWITCH-1M      | 1 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・ライセンス。10G+プラットフォーム  |
| SS-CV-T1-1M          | 150~499 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・ライセンス。10G+プラットフォーム                                  |
| SS-CV-T2-1M          | 500~1000 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・ライセンス。10G+プラットフォーム                                 |
| SS-CV-EN-1M          | 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・エンタープライズ・ライセンス (無制限のデバイス数) 10G+プラットフォーム                              |
| SS-CV-LT-SWITCH-1M   | 1 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・ライセンス。10G+プラットフォーム                                   |
| SS-CV-LT-T1-1M       | 150~499 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・ライセンス。10G+プラットフォーム                             |
| SS-CV-LT-T2-1M       | 500~1000 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・ライセンス。10G+プラットフォーム                            |
| SS-CV-LT-EN-1M       | 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・エンタープライズ・ライセンス (無制限のデバイス数)。10G+プラットフォーム                         |
| SS-CV-G-SWITCH-1M    | 1 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・ライセンス。1G プラットフォーム。Z を含む                                   |
| SS-CV-G-T1-1M        | 150~499 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・ライセンス。1G プラットフォーム                                   |
| SS-CV-G-T2-1M        | 500~1000 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・ライセンス。1G プラットフォーム                                  |
| SS-CV-G-EN-1M        | 1 か月間の CloudVision SW サブスクリプション・エンタープライズ・ライセンス (無制限のデバイス数) 1G プラットフォーム                               |
| SS-CV-LT-G-SWITCH-1M | 1 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・ライセンス。1G プラットフォーム                                    |
| SS-CV-LT-G-T1-1M     | 150~499 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・ライセンス。1G プラットフォーム                              |
| SS-CV-LT-G-T2-1M     | 500~1000 台のデバイス用の 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・ライセンス。1G プラットフォーム                             |
| SS-CV-LT-G-EN-1M     | 1 か月間の CloudVision Lite SW サブスクリプション・エンタープライズ・ライセンス (無制限のデバイス数)。1G プラットフォーム                          |
| SS-CV-SWITCH-LAB-1M  | ラボでの使用のみ: 最大 10 台のスイッチまでの 1 か月間の SW サブスクリプション・ライセンス  |
| DCA-200-CV           | 1 ラックユニットの CloudVision 物理アプライアンス、モデル 200 (MWM を使用した CVX、CVP サーバーおよび CV Wifi を含む)。CV デバイス・ライセンスはありません |
| SVC-DCA-200-CV-NBD   | DCA-CV アプライアンスの 1 か月の A-Care ソフトウェアと NBD ハードウェアの交換/同日出荷  |

## サービスおよびサポート

CloudVision 仮想アプライアンスのソフトウェア・サポートは、CloudVision ソフトウェア・サブスクリプション・ライセンスに含まれています。CloudVision 物理アプライアンスのハードウェア・サポートには、対応する A-Care サービス契約が必要です。Q 特定のデバイスごとに標準の A-Care 製品でカバーされます。すべての Arista 製品で提供される A-Care サービスの詳細については、<http://www.arista.com/en/service> を参照してください。

## アリスタネットワークスジャパン合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル 27F  
Tel:03-3242-6401

西日本営業本部  
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 19F  
Tel: 06-6133-5681

お問い合わせ先

[japan-sales@arista.com](mailto:japan-sales@arista.com)

Copyright © 2020 Arista Networks, Inc.

Arista のロゴ、および EOS は、Arista Networks の商標です。その他の製品名またはサービス名は、他社の商標またはサービス商標である可能性があります。

[www.arista.com/jp](http://www.arista.com/jp)

**ARISTA**

2022 年 7 月